

共通指標セット

| 算出元 | 参加形式 | 分類 | 指標名 | 分子 | 分母 | 指定薬剤などの別表の有無 | 公表 |
|--------------|------|---------|--|---|---|--------------|----|
| 1 各施設 | 必須 | 入院患者満足度 | 患者満足度 「a.全体としてこの病院に満足していますか？」 | 分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した入院患者数 | 入院患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数 | | 無 |
| | | | 患者満足度 「b.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」 | 分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した入院患者数 | 入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数 | | 無 |
| | | | 患者満足度 「c.入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」 | 分母のうち「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した入院患者数 | 入院患者への満足度調査項目「入院の原因となった病気や症状に対する診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問有効回答数 | | 無 |
| 2 各施設 | 必須 | 外来患者満足度 | 患者満足度 「a.全体としてこの病院に満足していますか？」 | 分母のうち「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した外来患者数 | 外来患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数 | | 無 |
| | | | 患者満足度 「b.診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」 | 分母のうち「十分だった」または「まあまあ十分だった」と回答した外来患者数 | 外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、今日までに医師から受けた説明は十分でしたか？」の設問有効回答数 | | 無 |
| | | | 患者満足度 「c.診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」 | 分母のうち「十分に伝えられた」または「まあまあ伝えられた」と回答した外来患者数 | 外来患者への満足度調査項目「診断や治療方針について、医師の説明を受けた際の疑問や意見は、医師に伝えられましたか？」の設問有効回答数 | | 無 |
| 3 各施設 | 任意 | 職員満足度 | 職員満足度 「a.友人や家族が病気や怪我を患ったときに、あなたの施設を薦めたいと思いますか？」 | 分母のうち「強くそう思う」または「ややそう思う」と回答した職員数 | 職員満足度調査項目「友人や家族が病気や怪我を患ったときに、あなたの施設を薦めたいと思いますか？」の設問有効回答数 | | 無 |
| 4 各施設 | 必須 | 医療安全 | 転倒・転落 a.入院患者での転倒転落発生率 | 入院中の患者に発生した転倒・転落件数 | 入院患者延べ数（人日） | | 無 |
| | 必須 | | 転倒・転落 b.入院患者での転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率 | 入院中の患者に発生したインシデント影響度分類レベル3b以上の転倒・転落件数 | 入院患者延べ数（人日） | | 無 |
| 5 各施設 | 必須 | 医療安全 | インシデント・アクシデント a.1か月間・100床当たりのインシデント・アクシデント発生件数 | 調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数×100 | 許可病床数 | | 無 |
| | 必須 | | インシデント・アクシデント b.全報告中医師による報告の占める割合 | 分母のうち医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数 | 調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント報告総件数 | | 無 |
| 6 各施設 | 必須 | 医療安全 | 褥瘡発生率 | d2（真皮までの損傷）以上の院内新規褥瘡発生患者数 | 同日入退院患者または褥瘡持込患者または調査月間以前の院内外新規褥瘡発生患者を除く入院患者延べ数（人日） | | 無 |
| 7 様式1・EFファイル | 必須 | 医療安全 | 中心静脈カテーテル挿入時の気胸発生率 | 分母のうち入院後医原性気胸が発生した患者数 | 中心静脈カテーテルが挿入された患者数 | | 無 |

| | 算出元 | 参加形式 | 分類 | 指標名 | 分子 | 分母 | 指定薬剤などの別表の有無 | 公表 |
|----|------------|------|--------|---|--|--|--------------|----|
| 8 | 各施設 | 任意 | がん | キャンサーボード a.新規に悪性腫瘍と診断された患者のうち、複数の診療科による治療方針の検討がなされた割合 | 分母のうち複数の診療科(内科、外科、腫瘍内科、放射線科等)による治療方針の検討がなされた患者数 | 当該施設で、5大癌（胃癌、大腸癌、乳癌、肝臓癌、肺癌）と診断され初回治療が行われた患者数 | | 無 |
| 9 | 各施設 | 任意 | がん | 麻薬処方患者における痛みの程度の記載率 | 分母のうち当該施設において初めて麻薬が処方された日もしくは次回の診察時の診療録に痛みの程度の記載がある患者数 | 当該施設において麻薬が処方された患者数 | 有 | 無 |
| 10 | 様式1・EFファイル | 必須 | 急性心筋梗塞 | 急性心筋梗塞患者におけるアスピリン a.急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与率 | 分母のうち入院後早期（2日以内）にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された患者数 | 急性心筋梗塞の診断で入院した患者数 | 有 | 有 |
| | | 必須 | | 急性心筋梗塞患者におけるアスピリン b.急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与率 | 分母のうち退院時にアスピリンもしくはクロピドグレルが投与された患者数 | 急性心筋梗塞の診断で入院した患者数 | 有 | 有 |
| 11 | 様式1・EFファイル | 必須 | 急性心筋梗塞 | Door-to-Balloon a.急性心筋梗塞で病院に到着してからPCIまでの時間が90分以内の患者の割合 | 分母のうち来院後90分以内に手技を受けた患者数 | 18歳以上の急性心筋梗塞でPCIを受けた患者数 | | 有 |
| 12 | 様式1・EFファイル | 必須 | 脳卒中 | 早期リハビリテーション a.脳梗塞患者への早期リハビリ開始率 | 分母のうち入院後早期（3日以内）に脳血管リハビリテーション治療を受けた患者数 | 18歳以上の脳梗塞の診断で入院した患者数 | 有 | 有 |
| 13 | 様式1・EFファイル | 任意 | 肺炎 | 誤嚥性肺炎患者に対する喉頭ファイバースコピーアリまたは嚥下造影検査の実施率 | 分母のうち「D299喉頭ファイバースコピー」または「E0037造影剤注入手技 嚥下造影」検査が行われた患者数 | 誤嚥性肺炎患者数 | | 有 |
| 14 | 各施設 | 任意 | 糖尿病 | 血糖コントロール a.糖尿病薬物治療患者の血糖コントロール | 分母のうちHbA1cの最終値が8.0%未満であった外来患者数 | 過去1年間に90日以上の糖尿病の薬物治療が施行されている外来患者数 | 有 | 無 |
| 15 | 各施設 | 任意 | 抗菌薬 | 予防的抗菌薬 a.手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率 | 手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が点滴投与開始された手術件数 | 入院手術件数（冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術・股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術） | 有 | 有 |
| | 様式1・EFファイル | 必須 | | 予防的抗菌薬 b.術後24時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 | 分母のうち手術翌日に予防的抗菌薬が投与されていない件数 | 入院手術件数（股関節人工骨頭置換術・膝関節置換術・血管手術・大腸手術・子宮全摘除術） | 有 | 有 |
| | 様式1・EFファイル | 必須 | | 予防的抗菌薬 c.術後48時間以内の予防的抗菌薬投与停止率 | 分母のうち術後2日目に予防的抗菌薬が投与されていない件数 | 入院手術件数（冠動脈バイパス手術・そのほかの心臓手術） | 有 | 有 |
| 16 | 様式1・EFファイル | 任意 | チーム医療 | 服薬指導 a.薬剤管理指導実施率 | 薬剤管理指導を受けた患者数 | 入院患者数 | | 有 |
| | 様式1・EFファイル | 必須 | | 服薬指導 b.安全管理が必要な医薬品に対する服薬指導実施率 | 「薬剤管理指導料2 特に安全管理が必要な医薬品が投薬又は注射されている患者に対して行う場合(1に該当する場合を除く)」が算定された患者数 | 安全管理が必要な医薬品のいずれかが投薬または注射されている患者数 | 有 | 有 |
| 17 | 様式1・EFファイル | 任意 | チーム医療 | 栄養指導 a.糖尿病・慢性腎臓病患者への栄養管理実施率 | 特別食加算の算定回数 | 18歳以上の糖尿病・慢性腎臓病患者で、それらへの治療が主目的ではない入院患者の食事回数 | | 有 |

| | 算出元 | 参加形式 | 分類 | 指標名 | 分子 | 分母 | 指定薬剤などの別表の有無 | 公表 |
|----|------------------|------|------|---|---|------------------------------------|--------------|----|
| 18 | 様式1・EFファイル | 必須 | 病院全体 | 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 a. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率 | 分母のうち肺血栓塞栓症の予防対策（弾性ストッキングの着用、間歇的空気圧迫装置の利用、抗凝固療法のいずれか、または2つ以上） <small>が実施された患者数</small> | 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数 | 有 | 有 |
| | | | | 手術ありの患者の肺血栓塞栓症 b. 手術ありの患者の肺血栓塞栓症の発生率 | 分母のうち肺血栓塞栓症を発症した患者数 | 肺血栓塞栓症発症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数 | 有 | 無 |
| 19 | 様式1 | 必須 | 病院全体 | 再入院（30日） a. 30日以内の予定外再入院率 | 分母のうち前回の退院日が30日以内の救急医療入院患者数 | 退院患者数 | | 無 |
| 20 | 各施設 | 必須 | 病院全体 | 職員の予防接種 a. 職員におけるインフルエンザワクチン予防接種率 | インフルエンザワクチンを予防接種した職員数 | 職員数 | | 有 |
| 21 | 各施設 | 任意 | 病院全体 | 高齢者での事前指示 a. 80歳以上の入院患者中、事前指示の記録がある患者の割合 | 本人または代理決定者による事前指示の記録がある入院患者数 | 80歳以上の入院患者数 | | 無 |
| 22 | 様式1・Fファイル・EFファイル | 必須 | 感染管理 | 血液培養の実施 a. 広域抗菌薬使用時の血液培養実施率 | 分母のうち投与開始初日に血液培養検査を実施した数 | 広域抗菌薬投与を開始した入院患者数 | 有 | 有 |
| | Fファイル・EFファイル | 必須 | | 血液培養の実施 b. 血液培養実施時の2セット実施率 | 血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数(人日) | 血液培養オーダー日数(人日) | | 有 |
| 23 | 様式1・EFファイル | 必須 | 地域連携 | 地域連携バス a. 脳卒中患者に対する地域連携バスの使用率 | 「地域連携診療計画加算」を算定した患者数 | 脳卒中で入院した患者数 | | 有 |
| | | 必須 | | 地域連携バス b. 大腿骨頸部骨折患者に対する地域連携バスの使用率 | 「地域連携診療計画加算」を算定した患者数 | 大腿骨頸部骨折で入院し、大腿骨頸部の手術を受けた患者数 | | 有 |